

大阪日日新聞

事件事故両方で捜査 女性医師変死事案で府警本部長 2021年3月9日

大阪府議会は8日、本会議を開き、一般質問で2009年に大阪市西成区の木津川で医師の矢島祥子(さちこ)さん(当時34歳)の遺体が発見された事案を巡り、大阪府警の井上一志本部長は「『犯罪の疑いあり』と考え、捜査をしているが、『犯罪である』と明確に断定できる状況に至っておらず、事件と事故の両方の観点から捜査している」と答弁した。

公明党の川岡栄一府議の質問に答えた。川岡府議は、医師でもある矢島さんの両親の手紙を読み上げ、「『祥子の死体を発見した2人の釣り人について捜査したのか、西成署から私たち遺族は何も聞いていない』」と切実な訴えを紹介した。

これに対し井上本部長は「遺族に対し、これまで面談などで遺体が発見された状況などの捜査状況の説明を行っている。捜査上の秘密や個人のプライバシーにわたる場合は、説明が困難な場合もある」と答えた。

また、川岡府議は「(矢島さんの)両親と兄弟の話を聞けば聞くほど、何らかの事件に巻き込まれたと感じ、自殺という警察の説明には私も納得できなかった」とも述べた。